

令和 8 年 8 月 4 日

「経営学入門」を開催します

「経営の思考軸」を学ぶ 3 日間～社会人と鳥大生と一緒に学びます～

鳥取大学ではリカレント教育の一環として、10 月 3 日(土)より、県内の社会人および学生を対象に「経営学入門」を対面形式で開催します。

現在、鳥取県内の企業を取り巻く環境は、人口減少や人手不足、最低賃金の上昇、原材料価格の高騰など大きな変化に直面しています。本講座では、企業がこうした課題に向き合いながらいかに存続し、地域社会に対してどのような役割を果たすべきかを、県内企業の事例を交えながら体系的に学びます。

本講座は「社会人と鳥大生が共に学ぶ」場であり、多様な視点から明日から使える「経営の思考軸」を身に付けることを目的としています。ついては、県内全域の皆様へ広くお届けすべく、周知・報道のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■ 日時・内容(3 日間)

◎第1回:10 月 3 日(土)9:00～12:00

【テーマ】賃上げと管理会計－企業は人件費の上昇にどう向き合うのか

◎第2回:10 月 3 日(土)13:30～16:30

【テーマ】価格転嫁と競争戦略－競争優位はいかに形成されるのか

◎第3回:10 月 17 日(土)13:30～16:30

【テーマ】関金ストアから考える企業の公共性－企業の新陳代謝と地域社会の関係を再考する

◎第4回:10 月 31 日(土)13:30～16:30

【テーマ】後継者が引き継ぐもの－第三の義務と事業継承

※詳細については、添付のチラシをご確認ください。

■ 対 象：全ての回を受講できる方

■ 会 場：鳥取大学湖山キャンパス Tottori uniQ CDL(コミュニティ・デザイン・ラボ)

■ 講 師：角谷 直樹 氏(株式会社角屋食品 代表取締役 / 名古屋商科大学ビジネススクール客員講師)

■ 受講料：一般 7,000 円

学生 無料 ※鳥取大学以外の学生の方も大歓迎

■ 申 込：事前の申込が必要です。申込締切 令和 8 年9月18日(金)

URL(<https://forms.gle/mVLd2AwWsMcagQ8q6>)または、上記の QR コードから



【本件に関するお問合せ先】

鳥取大学地域価値創造研究教育機構 地域未来共創センター

TEL: 0857-31-6777 Email: koken@ml.adm.tottori-u.ac.jp

【取材申込について】

鳥取大学広報・基金室(ブランディング推進室広報企画係)

TEL :0857-31-5006 FAX:0857-31-5018 Email: toridai-kouhou@ml.adm.tottori-u.ac.jp

『経営学入門』



「走り続ける力」を身に付ける3日間

人口減少、少子高齢化、人手不足、賃金上昇、原材料価格の高騰など社会環境が大きく変化するなか、企業が存続し続けるためにはどうすればいいのか。「経営の思考軸」を学ぶ、経営学の入門編です。

3日間でワンセットの講義となります

第1回 10月 3日(土) 9:00~12:00

第2回 10月 3日(土) 13:30~16:30

第3回 10月17日(土) 13:30~16:30

第4回 10月31日(土) 13:30~16:30

会場(3日間共通)

鳥取大学湖山キャンパス Tottori uniQ
CDL(コミュニティ・デザイン・ラボ)

講師

株式会社角屋食品 代表取締役
角谷 直樹 氏
(名古屋商科大学ビジネススクール 客員講師)

受講料

- 一般 7,000円(税込)
- 学生 無料

定員

30名

社会人と鳥大生と一緒に学びます

※鳥大生は、授業科目となります ※鳥大生以外の学生も大歓迎(受講料無料)

お申し込みはこちら

<https://forms.gle/mVLd2AwWsMcagQ8q6>

(申込締切) 令和8年 9月18日(金)

お電話でのお申込みは受付おりませんのでご了承ください。

- 受講料については、お申し込み後に鳥取大学から振り込みの案内が届きます



お問い合わせ

鳥取大学地域価値創造研究教育機構 地域未来共創センター 地域連携推進室
● Tel 0857-31-6777 担当: 檜垣 ● Email: koken@ml.adm.tottori-u.ac.jp

主催: 鳥取大学

鳥取大学で始めるリスキリング講座『経営学入門』

PROGRAM

概要 実践と理論で学ぶ、 3日間の経営学プログラム

人口減少、少子高齢化、人手不足、賃金上昇、原材料価格の高騰など、鳥取県内の企業を取り巻く経営環境は大きく変化している。

企業が存続するためには、自社のコスト構造を正確に把握し、必要な利益を確保するとともに、競合企業との違いを生み出し、顧客から選ばれ続けなければならない。一方、人口減少が進む地域において、企業の退社は、雇用や商品・サービスの供給だけでなく、地域社会の生活基盤そのものに影響を及ぼす。さらに、企業を存続させるためには、その経営を誰が、どのような責任をもって次世代へ引き継ぐのかという問題避けて通ることはできない。

本講座では、鳥取県内の企業や地域で実際に生じた事例を題材として、管理会計、競争戦略、企業の公共性、事業承継について学ぶ。企業経営を単なる利益獲得の手段として捉えるのではなく、企業はいかにして存続するのか、企業は地域社会に対してどのような役割と責任を負うのか、そして、企業経営者はなぜそのような責務を負っているのかを考察する。

Tottori
uniQ

とっとりユニーク

「とっとりユニーク」とは

鳥取大学は独自の知を活用し、地域に世界に“Unique”を発信していく拠点です。この姿勢を表明するコンセプトワードとして、Univではなく“Uniq”と表現しました。あえて英文字を短縮しQを強調したのは、世の中に問い=Questionを投げかけ、世界を変えていくために探求=Questする意思を表すためです。

第1回

10月 3日(土)
9:00~12:00

鳥取県における最低賃金の上昇と労働人口の減少を手掛かりとして、賃上げが企業の利益と資金繰りに与える影響を検討する。売上高、変動費、固定費、限界利益、損益分岐点など、管理会計の基本的な概念を学び、賃上げに必要な利益を確保するために、売上数量、販売単価、コストをどのように変化させる必要があるのかを考察する。

第2回

10月 3日(土)
13:30~16:30

賃金や原材料費の上昇を価格へ転嫁しながら、顧客から選ばれ続けるための条件を検討する。楠木建著『ストーリーとしての競争戦略—優れた戦略の条件』と講師が用意するケース教材を用いて、競争優位、差別化、経営活動間のつながり、因果論理、模倣困難性などについて学ぶ。

第3回

10月17日(土)
13:30~16:30

鳥取県倉吉市関金地区に設立された関金ストアの事例を通じて、企業の退社と地域社会との関係を検討する。地域に必要とされる企業であっても、採算を確保できなければ存続できないという経済的現実を踏まえ、株式会社の公共性と、企業、行政、金融機関、地域住民の責任について議論する。

第4回

10月31日(土)
13:30~16:30

角屋食品の事業承継を題材として、創業家に生まれた後継者の職業選択の自由と、企業、家族、従業員、取引先、地域社会に対する責任との関係を考察する。本人の同意による契約上の義務や、利益の交換による互恵的な義務だけでは説明できない、過去の世代や共同体とのつながりから生じる「第三の義務」の可能性を検討する。

※本講義は、ケースメソッドによって進めます。

ケースメソッドは、ハーバード・ビジネス・スクールで誕生した教授法であり、参加者主体の学びを促す教育手法として、世界中のビジネススクールで広く採用されています。実際に起こった出来事(ケース)の主人公になったつもりで考え、クラス全体で議論を行います。座学のように知識習得だけを目的として一方的に話を聞くのではなく、講師と受講生、さらには受講生同士の主体的な議論を通じて理解を深め、世界観や視野を広げることを目指します。